

環境報告書

Environmental Report 2022



九州大学情報基盤研究開発センター

Research Institute for Information Technology,

contents

riit 第1章 環境配慮活動に向けて

- トップメッセージ
- 情報基盤研究開発センター概要
- 環境マネジメント体制
- 環境活動計画と目標

riit 第2章 環境保全

- 環境活動等

riit 第3章 エネルギー・資源の削減

- エネルギー消費量
- ゴミの分別について



■ トップメッセージ



情報基盤研究開発センター長 岡村 耕二

地球温暖化防止への配慮はもちろん、限られた資源の有効活用の観点からも省電力や熱対策など、環境に配慮したIT化の取り組みは、社会にとって必要不可欠となっています。いまや全世界の総電力需要に占めるIT機器の消費電力は5%を超えており、この数字は今後さらに増加していくものと予想されます。

今後我々はグリーンIT、エコ社会の実現へ向けた取り組みを更に徹底し、同時に消費資源の最小化を図り経営効率を改善することが求められています。大容量の電力資源を必要とする高性能計算機を、超低消費電力型に置きかえるなど運営面での努力が必要です。

さらに情報基盤研究開発センターでは、一般の部局としてのエコロジー活動に加えて、九州大学全体の情報基盤を預かる責任部局としてIT機器の調達ならびに運用において常に低消費電力化を意識し、「地球に優しい情報環境」の構築に取り組んでいきます。

■ 情報基盤研究開発センター概要

部局名 情報基盤研究開発センター

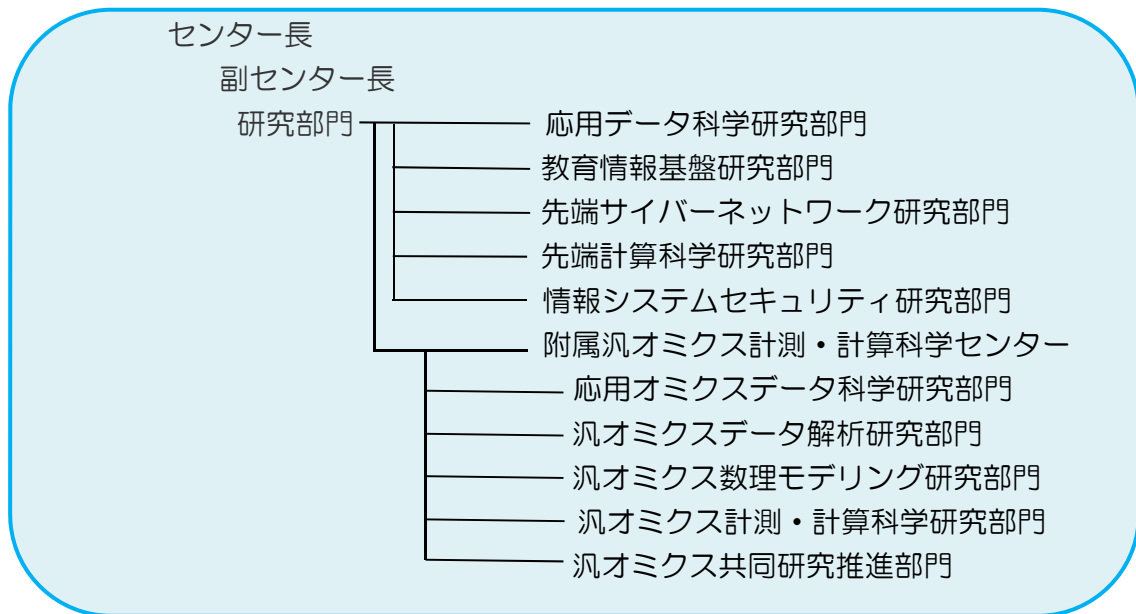
所在地 〒819-0395 福岡市西区元岡744

TEL 092-802-2614

URL <http://ri2t.kyushu-u.ac.jp/>（情報基盤研究開発センター）

設立 2000年（平成12年4月1日）

情報基盤研究開発センター組織図



構成員 教職員 24名（令和4年3月31日 現在）

[内訳] 教員 15名，学術研究員 1名，
事務補佐員 5名，技術補佐員 3名

報告期間

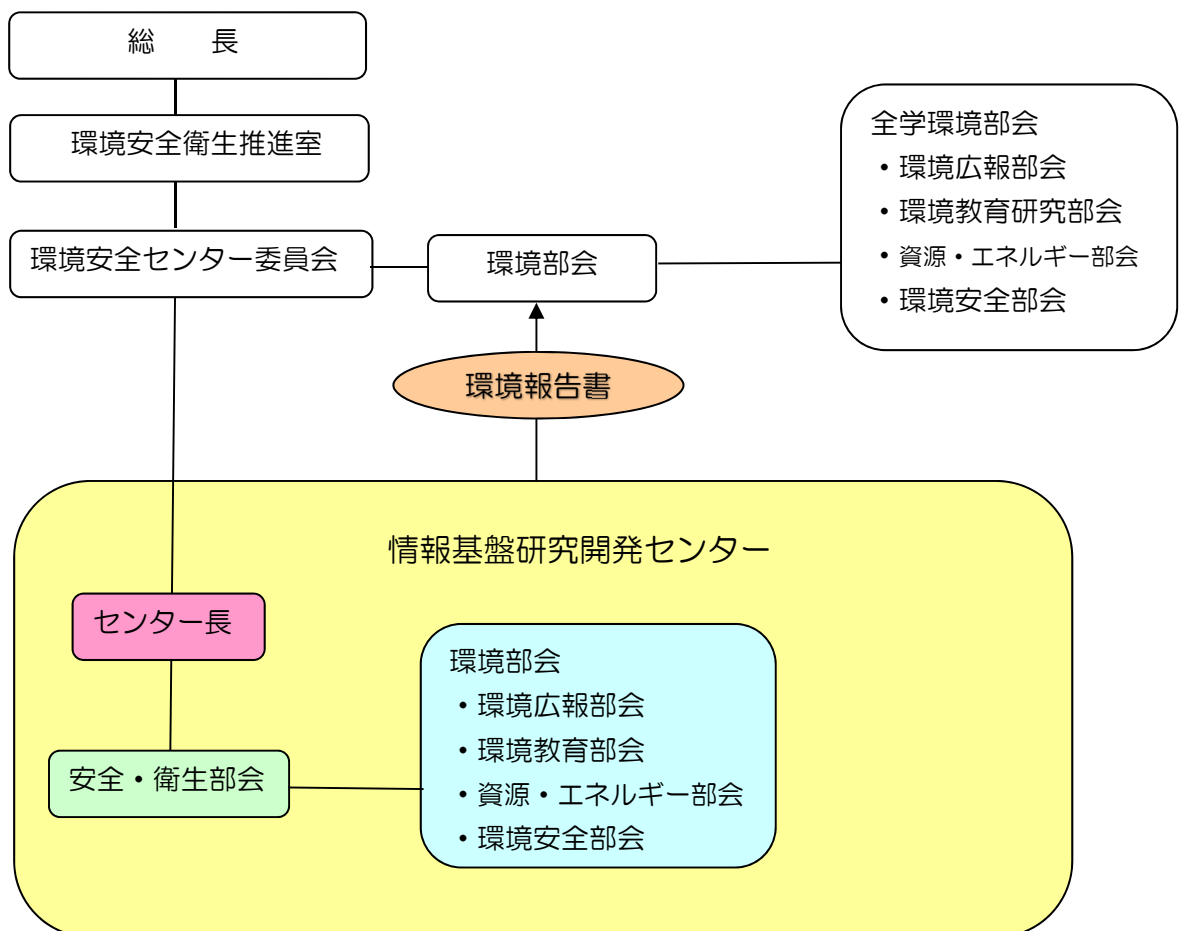
「環境報告書2022」に記載している内容は、主に2021年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の取り組み、実績値を中心にまとめています。

■ 環境マネジメント体制

平成17年4月1日に施行された「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」(環境配慮促進法)を受け、本学に置かれている「環境保安全管理委員会」の下に、本センターにおいて、環境広報部会、環境教育部会、資源エネルギー部会及び環境安全部会を設けております。

各部会に担当者を置き、本センターにおいて環境マネジメントシステムを構築し、環境保安全管理委員会に活動報告書が提出できるような体制を整えるよう目指しております。

環境配慮の取り組み体制



■ 環境活動計画と目標

事 項	取 組 と 目 標
温暖化対策	令和3年度は夏季の室温を28度に設定するとともに、クールビズを励行した。また、廊下の電気は消すなど、こまめな消灯を行い、省エネに努めた。令和4年度も引き続き努力し、建物延床面積当たりのエネルギー使用量の前年度比1%以上削減を目指す。
資源環境	令和3年度は「九大WEBリサイクルシステム」の利用拡大を推進し、活用した。また、古紙については各フロアに古紙回収容器を設置し、「紙切れ」等の分別回収を励行し、回収量を前年度より増やすよう努力を行った。令和4年度も引き続き努力し、前年度比5%以上の回収量増加を目指す。
グリーン購入	令和3年度は九州大学グリーン調達方針に基づく調達を行った。令和4年度もグリーン購入を促進する。



情報基盤研究開発センター外観

■ 環境活動等

■ 節電

廊下や執務室以外は外光を取り入れることで昼間は消灯しています。また、執務室について昼休みは消灯し電気代の削減に貢献できるよう努めています。

外光を取り込みにくいトイレや階段等は人感センサーによる自動点灯・消灯を行っています。



■ 温湿度計の設置

温湿度計を随所に設置し、常に教職員が温度・湿度を確認でき、エコ活動に貢献できるように努めています。



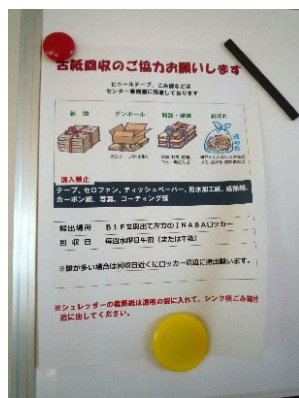
■ 空調機におけるファンの設置

空調機にファンを設置することで冷暖房の温度ムラを解消し空調効果の向上に努めています。



■ エコポスターの掲示

随所にエコに関するポスターを掲示をし、教職員へのエコ意識向上に努めています。



■ 全面禁煙

学内全面禁煙に伴い、敷地内は全面禁煙となっております。



第3章 エネルギー・資源の削減

■ エネルギー消費量(電気、ガス、水、資源リサイクル等)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
電 気	926,902	1,118,516	971,617	1,058,080	1,130,762	1,081,336
	11,611	14,405	12,933	14,561	15,399	14,780
上水道	56		50		40	
	36		32		26	
下水道		80		92		148
		35		40		73
ガ ス	106	182	1,954	3,174	2,630	2,343
	5	10	108	175	141	133

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1,113,586	1,068,510	1,010,166	1,057,284	956,856	1,061,486	12,555,101
14,987	14,786	14,255	14,979	14,306	16,520	173,522
35		45		48		274
23		29		31		177
	136		99		79	634
	63		44		35	290
1,300	514	1,597	2,125	1,956	1,027	18,908
74	31	104	142	141	77	1,141

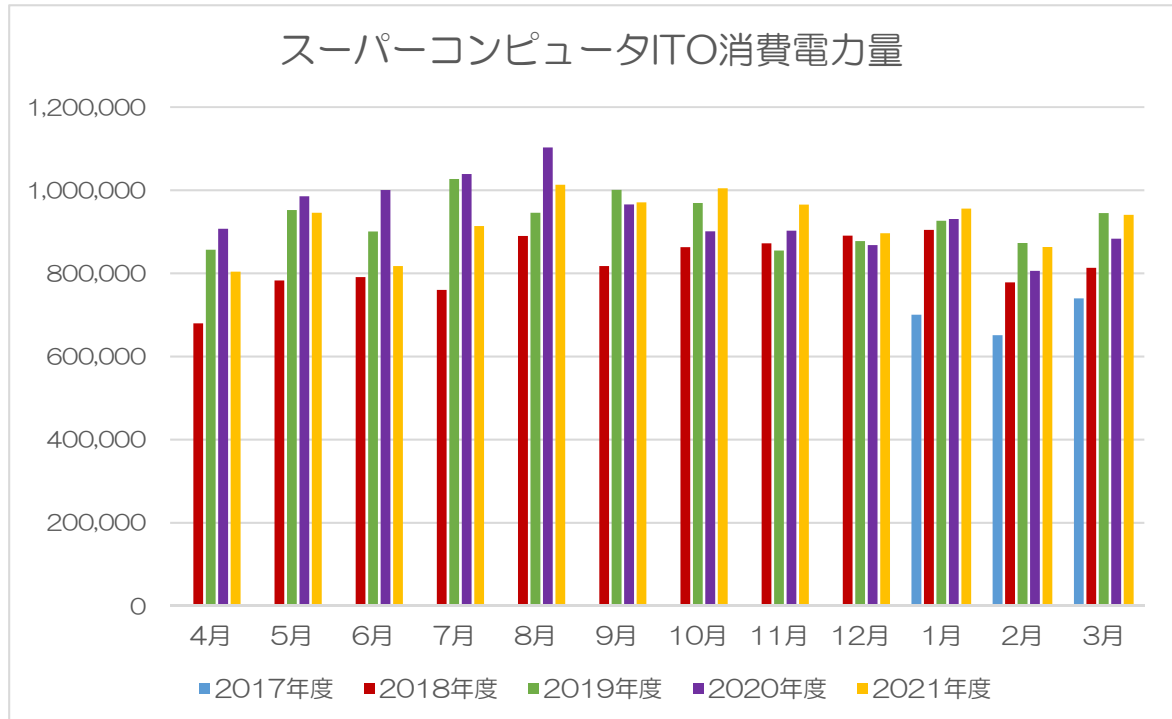
単位 (電気) 上段：kwh 下段：千円 (上下水道) 上段：m³ 下段：千円
(ガス) 上段：m³ 下段：千円

古紙回収

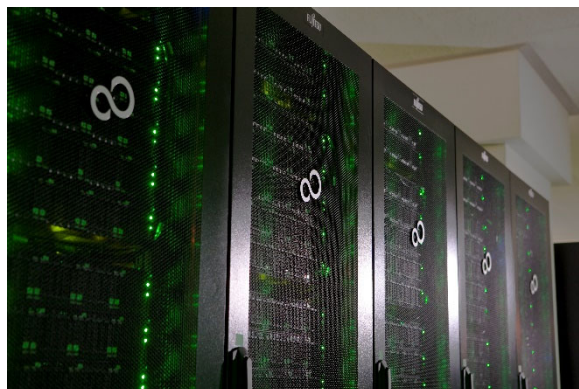
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
130	100	110	180	60	50	80	90	430	140	240	130	1,740

単位：k g

■ スーパーコンピュータ消費電力量



・H29年度より新しく導入されたスーパーコンピューターITOは、詳細な電力情報を出力する機能を持っています。ITOシステムはH30年1月から全系が稼働開始し、それ以降の電力情報を収集しており、使用電力情報の可視化を行っています。



スーパーコンピュータシステム ITO

■ ゴミの分別について

- ゴミ箱は分別できるように設置し、日頃からゴミの分別を呼びかけています。また職員が正しく分別されているかのチェックを定期的に行っています。

